

# 学校図書館支援センター通信 NO.79 7月号

平成26年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 学校図書館支援センター事業 協力校授業研究

7月1日（火）塩焼小学校で、学校図書館を活用した授業研究会が行われました。

4年生の国語科「短歌の世界」の学習で、子どもたちに短歌の持つリズムを感じ取らせるために、学習の始めに様々な短歌を味わわせていました。短歌の持つリズムを体得した子どもたちは、先生の用意した写真からイメージを膨らませて、次々と短歌を作っていました。日ごろから図書が好きでよく読んでいる子どもたちですが、ネットワークシステムによって、市内中から集められた図書も、子どもたちの学習を支えていました。集められた図書は、学校図書館員によって、わかりやすく整理されて、箱に収められていました。



ネットワークで集めた図書

子どもたちは、この学習の後も年間を通して短歌作りを行い、最後にまとめて短歌集にして、学校図書館に納める予定になっているそうです。

未来の歌人が、塩焼小学校から生まれるかもしれませんね。



## 中学校での図書館活用 ～南行徳中学校～ <授業・イベント・委員会活動>

南行徳中学校では、学校図書館が学校生活の様々な場面で活用されています。1年生の国語科「ベンチ」では学習のまとめに図書館を活用して、戦争や平和についての図書に触れ、それらについて考えを深める学習が行われました。その他にも、修学旅行に関する調べ学習など、多くの学習場面で学校図書館が活用されています。



学校図書館内の展示コーナーには、文学ミュージアム主催「工藤直子展」(7/19～9/28)のイベント「のはらむらのみんなにお手紙を出そう」の応募はがき用の手作りポストが置かれ、のはらむらのみんなに向けて書かれた、多くの生徒の手紙が投函されていました。

図書委員会では、朗読家の柿原智恵子さんを講師にお招きして、「語り」の指導を受けました。まず始めに柿原さんが「梨づくりの善六さん」を注意するポイントを説明しながら語ってください、その後生徒たちが順番に「語り」を披露し柿原さんから直接ご指導をいただきました。「語り」は、囲炉裏端でおばあちゃんのお話を聞くような感じで行うものなのだそうです。本来は、全て文章を覚えて語るのですが、今回は、話の内容だけ頭に入れて、時々文章に目を落として語る練習を行いました。語り手は聞き手の目を見ながら話しかけるように行い、「聞き手」は時々頷きながら聞くとよいというご指導をいただきました。生徒たちは、みな真剣に柿原さん言葉に耳を傾けていました。この特訓の成果は、この後、7月16日に各クラスの生徒の前で披露される予定です。



1年生の国語科「ベンチ」



## 二年目教諭研修会より

教育センターでは、今年度から二年目教諭を対象とした「市川市の教育施策に関する研修会」を始めました。教育委員会各課の代表者が、市川市の教育方針や事業についてリレー形式でわかりやすく説明しました。

教育政策課「教育振興基本計画」、生涯学習振興課「学校支援コーディネーター」、指導課「スマイルプラン」と続き、教育センターからは、「学校図書館支援センター事業」について話しました。市川市の読書教育の歴史や、相互貸借システム、授業での活用風景や中央図書館の役割について、DVDを観ながら詳しく説明を行いました。これをきっかけに市川市の教育方針についてさらに理解を深め、子どもたちに生きる力を養うための授業力向上に努めていただきたいと思います。

### 【参加者の学校図書館活用に関する感想より】

- 学校図書館の有効な使い方が勉強になりました。図書は、教科での調べ学習や読み聞かせ等を通して、多くの作品に触れることが大切なのだと改めて感じました。
- 学校図書館支援センターの役割や学校図書館支援システムについて改めて知りました。授業や活動の内容によっては、学校図書館を活用した方が知識や認識が深まると思いました。

## 図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

本校は外遊びが大好きな児童が多く、ふだんの図書館はとても静かです。

しかし、読書まつりの時期になると様子が一变します。イベント期間中は、パネルシアター上演、しおりコンクール、詩の暗唱、辞書引き大会等… 図書委員の大活躍により、毎日いろいろな催しが行われます。図書館は、イベント好きな宮久保小の児童で満員です。

今年は、読書の目標冊数を100冊と決めて「読書名人になろう！」キャンペーンを行いました。すぐに図書館は、本を借りにくる児童で賑わい始めました。

また、梅雨時には「雨の日ミニ読書まつり」と銘打ち、図書委員がエプロンシアターや大型絵本の読み聞かせをします。本好きになる秘訣は、本の味（良さ）を知ることです。様々な作戦を立てたくさんの本との出会いをつくっていきたく思います。さあ次は何をしかけましょうか？



市川市立宮久保小学校 学校図書館員 山口早苗

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。  
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4  
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

